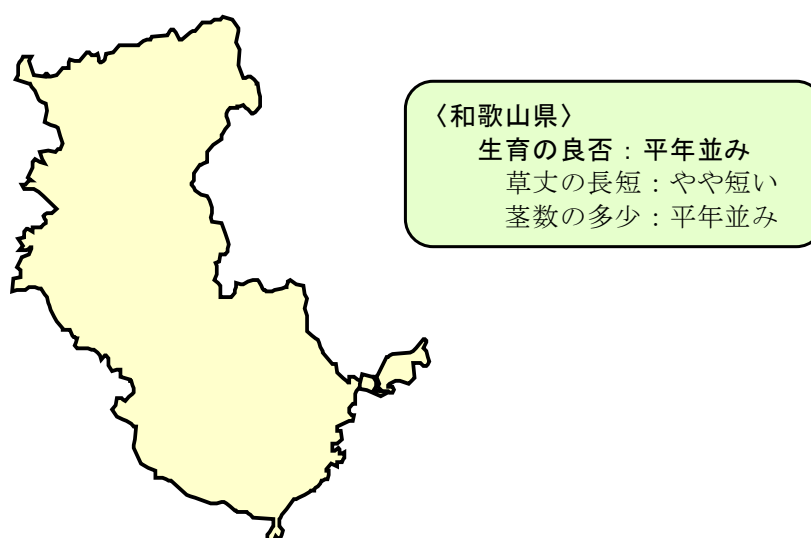


平成30年産水稻の8月15日現在における生育状況（和歌山県）

－ 生育は「平年並み」 －

- 1 田植最盛期は、苗の生育が順調であったことと、適雨により用水が確保され作業が順調に進んだことにより、平年に比べ1日早くなった。
- 2 田植期以降、6月中旬の日照時間が平年を下回ったため、初期の生育が抑制され分けつは緩慢となったものの、7月上旬以降の高温・多照により分けつは促進され、全体的には草丈は「やや短い」、茎数は「平年並み」となった。
このことから生育は「平年並み」で推移している。
- 3 出穂最盛期は、7月上旬以降の高温・多照により、生育が促進されたことから、平年に比べ2日早くなった。
- 4 被害は、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による食害や山間部でのシカ及びイノシシによる獣害等がみられる。

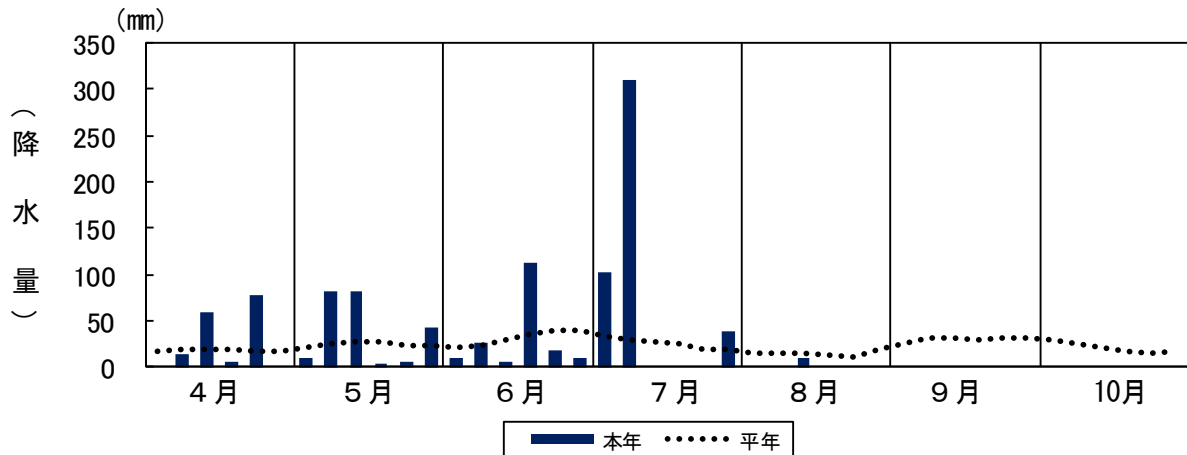
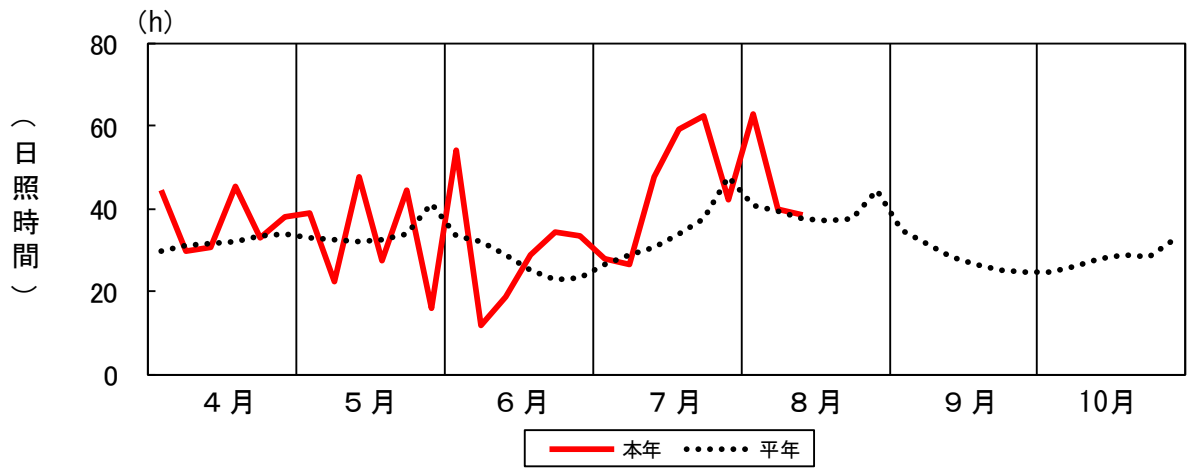
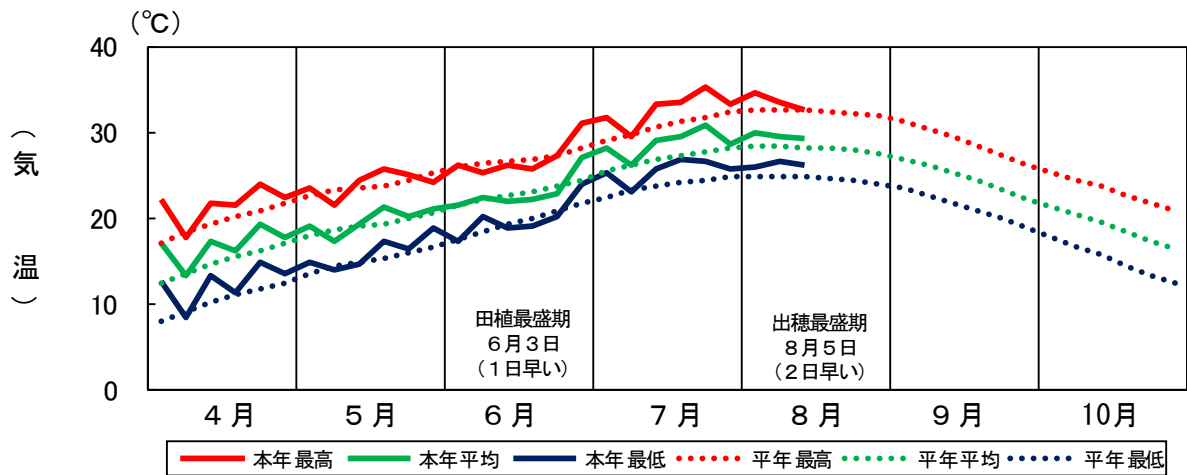
図 和歌山県の生育状況（8月15日現在）



- 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- この資料は、「平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況（近畿）」（平成30年8月31日公表）の補足資料として作成したものである。

【参考】

和歌山県（和歌山市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期及び出穂期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、()内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 和歌山県拠点 統計チーム

電話：(代表) 073-436-3831 内線 303
(直通) 073-436-3835

FAX： 073-436-5002